

2学期の開始に当たって

天童中部小学校 校長 大谷敦司

子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。約一ヶ月の夏休みでしたが大きな事故や病気等の連絡はなかったようです。本日無事に2学期の始業式を迎えることができたのは、保護者や地域の方々のお陰であり、感謝申し上げます。

ここにきて、新型コロナウイルスの感染は拡大傾向で、先日、県は「感染拡大防止特別集中期間」を設定し感染防止に向けた取組みの強化を求めています。学校では、これまでも様々な感染防止策をとってきました。まずは、それらを引き続き徹底して参ります。ご家庭でも、登校前の健康観察や検温、マスク着用、などの基本的な予防策について引き続きご協力をお願いいたします。

行事等について、現在のところは計画している期日で実施する予定ですが、内容については変更を含めて慎重に検討して参ります。

今後、状況によっては、急な・無理なお願いを申し上げなければならない事態が発生することも懸念されます。その際は、市教委をはじめとする関係機関、そしてPTA役員等と連携を図りながら対応させていただきます。

学校は、子どもが仲間や教職員と共にくらしながら生きる力を伸ばしていく場です。その際、最優先するのは安心・安全です。その上で、未来ある子どもたちの可能性が高まり広がるよう、“元に戻る”のではなく“ポストコロナの新しい時代にできることを最大限に”と考えて励んで参ります。

保護者・地域の方々が子どもたち・学校を温かく見守り、力強く支援して下さっているお陰で、私たちはいつも前向きに教育活動に取り組むことができます。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以下に、本日の始業式で話した内容を抜粋でお載せします。

今日こうして、元気な皆さんとまたお会いできたことを嬉しく思います。

さて、2学期のスタートに新しい仲間が加わりました。人間は、人と人との関わりの中で生きていくので、新しい出会いがあるのは嬉しく素晴らしいことです。

2学期は1年の中で最も長く83日間あります。暑い夏の終盤からクリスマスイブまで続き、季節では夏・秋・冬と3つ分です。自分の力を最も伸ばせる学期です。「これだけはやるぞ」とめあてを立てて、達成できるよう毎日小さな努力を積み重ねていきましょう。結局は、小さな努力を積み重ねた人に勝てる人はいません。

まず、自分はどんな人になりたいかを考え、それにはどんな力を伸ばさなければならないのかを決めて、めあてにしましょう。ゴールの設定がいい加減だと、折角ゴールに辿り着いても、「こんな筈じゃなかった」となってしまいます。動き出す前に自分自身の気持ちを確かめることは、いつだって結構大切なことです。

最後に、いつも同じですが、大事な話をします。

私は、この天童中部小学校の子供たち一人一人が好きだし、学校では「安心して、自分らしく、ゆったりした気持ちですごしてほしい」と思っています。だから、いじめは敵です。嫌なことを言われたりされたりした時は、我慢する必要は全然ありません。担任の先生や自分が言い易い先生方に必ず話をしてください。この学校では、私は勿論、全ての先生方がいじめは許しません。いじめのない平和で穏やかなくらしをしましょう。

あなたにとって素敵な2学期になるように願っています。